

■ 高齢者訪問まとめ

守谷市北部地域包括支援センター

訪問期間:令和6年7月1日(月) ~ 令和7年1月15日(水)

(1) 高齢者訪問について

- ・継続した訪問により、地域包括支援センターを認識されている方も多く、活動の浸透度を感じた。しかしながら、近年の高齢者が関係する事件等の影響を受け、防犯意識が高いことから突然の訪問に対応してもらえず、必要な情報の聞き取りが困難であった。
- ・多くの高齢者(今年 80 歳になる該当の方も含め)は、若々しく、元気に生活される姿を確認することができた。
- ・大井沢地区と大野地区は、敷地内同居や家族が近隣にいるため、親族間等のつながりで、問題を解決できていることが多い傾向が感じられた。

(2) 訪問内容について

- ・警察からの詐欺のチラシ等を配布し、丁寧に注意喚起を行った。
- ・独居の方は具体的な食事内容や家事の様子など、夫婦のみ世帯は 2 人の役割分担などから生活の様子を確認するように心掛けた。
- ・過去の訪問記録を確認し、訪問前に丁寧に準備をすることにより、訪問時のスムーズなコミュニケーションにつなげ、負担が軽減された。

(3) 民生委員との連携について

- ・民生委員との連携に努め、件数についても増回傾向にある。
- ・昨年度の訪問の際にスムーズにできなかった世帯も、民生委員との事前の情報共有をはかることで、効率的な訪問が出来た。
- ・毎年、民生委員と連携や情報共有していることから関係性が構築されてきており、連絡・相談がスムーズに行え、有効的な連携をとれた。

(4) 再訪問について

- ・フォローB(再訪問 1 か月以内): 3 件
いずれも85歳以上の方で、体調や認知機能の確認や緊急通報システムの紹介のため
- ・フォローC(再訪問 3 か月後): 3 件
独居の方で認知機能低下を疑い、他機関(社協等)へつなげる必要性の確認
同居家族の体調確認や介護者の介護負担の確認
- ・フォローD(再訪問 6 か月程度): 1 件
認知機能低下が疑われるため、日常生活に支障が出ていないかどうか確認のため

(5) 次年度に向けて

① 高齢者訪問の内容について

今後、高齢者の増加に伴い、配慮が必要な方も増加していく。そのため、民生委員をはじめとする地域の方や社会資源との繋がりを持って地域の情報を得ていくことで、様々な状況に柔軟に対応できるようにしていきたい。

免許返納に伴う交通手段の確保は、高齢者の生活に直結する問題となっている。社会資源の状況確認、警察等が主催する研修等にも積極的に出席しながら、状況に応じた手立てを学び考えながら、最適な支援につなげていきたい。

② 訪問体制について

2名体制で訪問活動をおこなっていく。複数の専門職がアセスメントをすることで、多角的にとらえ必要とされる支援につなげていけるように努めていく。

③ その他

防犯意識の高まりもあり、スムーズな訪問が難しくなっている。対象者の困りごとや悩みごと等に寄り添える手段として訪問活動を実施しているが、あらたな手段や方法の検討も必要である。